

学校名	奈川中学校	
ホームページURL	user.cnet.ne.jp/n/nagawa	生徒数 38名
(1) テーマ 「村のお年寄りおよび乳幼児との交流」 テーマの分類 (- 工) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他 () 該当学年 1年・2年・3年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい 村内の乳幼児やお年寄りの皆さんと交流を深めることにより、様々な年代の方々との接し方を学び、社会の一員としての自覚を持たせたいと考えている。		
(4) 活動の実際 (活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 各学年の学習内容 1学年：デ イサービスとのふれあい体験、乳幼児とのふれあい体験 2学年：デ イサービス入浴体験、デ イサービスクリスマス会、乳幼児とのふれあい体験 3学年：デ イサービスとのふれあい体験、村敬老会との交流会、乳幼児とのふれあい体験 学年共通：福祉教育講演会 各学年ともデ イサービスセンターや乳幼児検診の場に出向いて、お手伝いをしたり自分達の企画を発表したりして交流を重ねてきた。3学年は、月2回村の配食弁当に自分達の書いた絵手紙を添えて渡すなど、村のお年寄りと定期的な交流も実施している。 時数 (10時間程度)		
(5) 指導体制 (校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) 校内担当者が、村の社会福祉協議会と連絡を取り合っており、期日日程など企画。会場への送迎は、主に村内のバス等を利用している。 講演会は、村社会福祉協議会の方に依頼している。		
(6) 指導上の留意点 (時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) デ イサービスとの交流は、学年によって内容を変え、生徒達の工夫や自主性が生かせるよう配慮している。		
(7) 評価 (基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) 交流会での生徒の活動が即評価につながるが、学年によっては交流会後も感想や手紙を書いて送るなど継続的な取り組みを続けている。		
(8) 成果と課題 本村は老人の高齢化の割合が高いこともあり、生徒のお年寄りに対する意識は高く、デイサービスの交流など意欲的に取り組んでいる。また現在生徒会活動として、村のふれあい祭りに参加したり文化祭の実技講習会で老人クラブの方々に講師になっていただいたりして発展的に交流を行っている。 今後は介護保険制度の導入も踏まえ、各学年の交流内容を系統的に整理するなど、交流活動のあり方を検討していく必要がある。		

テーマの分類 横断的・総合的な課題 (-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や
学校の特色に応じた課題